

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課		■担当係	観光国際係
■評価事業名称	岩手県観光協会負担金			
■事業開始年度				
■評価事業コード	060100 - 019	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興		
	■施策	04 地域資源を活かした観光の振興		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	岩手の魅力ある観光資源の様々な宣伝を通しての、岩手の誘客促進と県民生活、文化及び経済の向上発展。県内における観光事業の振興を図り、併せて国際観光の振興を促し、文化及び経済の向上発展を図ることを目的に、県及び県内市町村並びに同観光協会で構成する協会負担金			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	岩手県観光協会負担金	県観光協会	岩手県観光協会が行う事業に対する負担金(主要事業)・情報発信・国内誘客対策・受入体制整備・国際観光推進・県及び関係機関と連携、取組支援	賛助会員全員協議会出席2回。おもてなしの心研修会出席1回。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	935	1,059	1,181	1,181	
人件費		75		154	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	935	1,134	1,181	1,335	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	観光宣伝事業、受け入れ体制の整備事業、誘客対策事業	適宜	適宜	適宜	適宜	観光客誘客や、修学旅行受け入れなどの各種事業、キャンペーンを実施した。
02	観光客当たりコスト	0.67円	0.74円	0.78円	1.03円	フルコスト÷年間観光客の入込数
03	観光振興のための賛助会員協議会開催	1回	3回	2回	2回	観光振興を目的とする賛助会員全員協議会に出席した。

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

04	年間観光客の入込数	1,400千人	1,521千人	1,510千人	1,293千人	各施設等への入込調査による
----	-----------	---------	---------	---------	---------	---------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

同協会のHP等でも周知されており、さくらまつり、北上みちのく芸能まつりといった大きなイベントの入込は増加している。首都圏での展示会を開催するなど参加するメリットは大きい。

問題点・課題等

他業務の兼ね合いもあり、同協会主催イベントへの参加が難しいなど、メリットを活かしきれていない。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了